

担当課（内線）	I T推進課（2363）	個別目標の方向性	未来志向の都市経営
重点目標	地域課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	市及び公営企業の経営の効率性を確保する

現状と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・「自治体DX推進計画（総務省）」を踏まえ、デジタル化による利便性の向上を市民が早期に享受できるよう、「特に国民の利便性向上に資する手続」について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いたオンライン手続が可能となるように、令和4年度に環境を構築。 ・「特に国民の利便性向上に資する手続」以外の手続についても、「地方公共団体におけるオンライン利用促進指針」を踏まえ、積極的にオンライン化を進めることが求められる。 	

R5年度の事業費（内訳）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 汎用電子申請サービス（LoGoフォーム）利用料（内訳） <ul style="list-style-type: none"> 基本機能 576,000円×1.1 ファイル無害化 172,800円×1.1 PDF帳票出力 76,800円×1.1 電子認証（旧：電子申請） 576,000円×1.1 オンライン決済 230,400円×1.1 ※R5新規 PayPay決済 76,800円×1.1 ※R5新規 xID公的個人認証（～2400件） 192,000円×1.1 ※R5新規 ・ チャットツール（LoGoチャット）利用料 53千円 ・ kintone操作研修及び活用支援業務委託 3,245千円 ※R5新規 ・ kintone・各種プラグインライセンス使用料 1,920千円 ※R5新規 	2,091千円

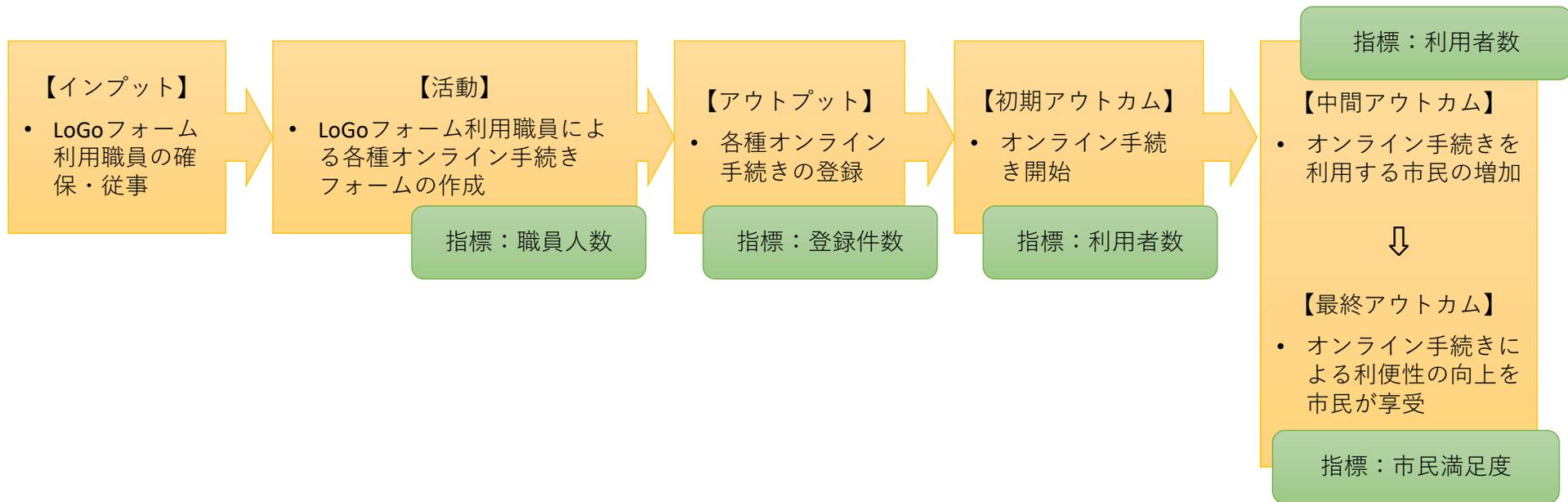
課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）	
<p>【中期的（4～5年後）にめざす成果】</p> <p>汎用電子申請サービス（LoGoフォーム）を利用し、各種手続きをオンラインからできるように取り組み、デジタル化による利便性の向上を市民が享受できることを目指す。</p> <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <p>（R5）汎用電子申請サービス（LoGoフォーム）を活用した先進的な事例を調査・研究し、本市に適した内容について導入を進める。</p> <p>（R6以降）引き続き、各種手続きのオンライン化を進める。</p> <p>【R5年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <p>汎用電子申請サービス（LoGoフォーム）の新たなオプションを導入し、オンラインによる住民票の写しの交付や各種証明書など公的個人認証が必要な電子化を推進する。汎用電子申請サービス（LoGoフォーム）で対応困難な行政手続きオンライン化や庁内事務効率化へ対応していくためにノウハウを習得する体制を整える。</p> <p>※R5.1.23現在 <u>LoGoフォーム回答数上位（公開中）</u> 公民館利用に関するアンケート：回答数4149 マイナポイント申込等の支援予約：回答数3419 価格高騰緊急支援給付金オンライン確認手続：回答数1765</p>	

R6年度以降の想定事業費（ランニング経費）
<ul style="list-style-type: none"> ・（R6）利用料 7,309千円 ・（R7）利用料 7,309千円 ・（R8）利用料 7,309千円 <p>※新たなオプション（有料）利用時は増額が必要</p>

取組の進捗・成果を測る指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン手続き登録数（未導入[2021]→200件[2025]）

成果・指標が未達成の場合の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> ・（R6）前年度を踏まえ改善 ・（R7）前年度を踏まえ改善 ・（R8）廃止

ロジックモデル【事業立案時点】



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

【財源】
• 一般財源

【他団体の状況】
• 大阪府内20市町が汎用電子申請サービス（LoGoフォーム）を利用

【R5年度】重点目標の取組・評価シート① (ICTを活用した行政DXの推進及び行政手続きのICT化の促進 (行政手続きのオンライン化))

担当課 (内線)	IT推進課 (2363)	個別目標の方向性	未来志向の都市経営
重点目標	地域課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	市及び公営企業の経営の効率性を確保する

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 汎用電子申請サービス (LoGoフォーム) を利用し、各種手続きをオンラインからできるように取り組み、デジタル化による利便性の向上を市民が享受できることを目指す。

■ R5年度における達成度 (当初の実施予定に対する達成度)



- (R5) 汎用電子申請サービス (LoGoフォーム) を活用した先進的な事例を調査・研究し、本市に適した内容について導入を進める。

■ R5年度において実施・実現できたこと

- 令和6年2月1日より、マイナンバーカードを利用して戸籍謄本など交付申請手続きをオンライン化 (証明書等は自宅に郵送)
 - 【市民課】住民票の写し、住民票記載事項証明、身分証明書、独身証明書、戸籍謄本、戸籍抄本、戸籍の附票の写し、改製原戸籍、除籍謄抄本、受理証明、受理証明 (上質紙)、届出書の写し (計12)
 - 【市民税課】課税証明、納税証明、公課証明、評価証明 (計4)
- LoGoフォーム操作研修 3回/計94名受講

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値 (年次)	目標値 (年次)	R5年度実績値
○	オンライン手続き登録数 (LoGoフォーム)	件	0 (2021)	200 (2025)	983 (テスト含む)
—	オンライン手続き利用者数	人			

■ R5年度において実施・実現できなかったこと

- 予定どおり実施した。

■ 課題分析

- 取組んでいる部署と、取り組んでいない部署、温度差がある。

■ ロジックモデルの振り返り

- 【活動】LoGoフォーム利用職員による各種オンライン手続きフォームの作成、【初期アウトカム】オンライン手続き開始、を実施できた。
- 【中間アウトカム】オンライン手続きを利用する市民の増加、はオンライン手続き数が大きく増加しているため「利用する市民の増加」していると推測するが、LoGoフォームの仕様上・手続きの性質上、利用する市民の数は時点・時点ではしか把握できない。

■ 次年度以降の予定・改善内容

- 行政DX推進委員会内に「行政手続きオンライン化作業部会」を設置して、粗大ごみ収集の申込、犬の登録申請・死亡届、職員採用試験申込 のオンライン化に取り組む。